

ENBOU社内報

第2号 2026年6月



巻頭あいさつ

皆さま、日々の業務おつかれさまです。

社内報第2号では、社内で行われた取り組みやイベントの様子をご紹介します。部署や拠点を超えて交流を深めた場、実際に見て・触れて学びを得た機会、そして会社のこれまでとこれからの方向性を共有する場など、さまざまな場面を通じて、多くの気づきとつながりが生まれました。

仲間の思いや仕事への姿勢に触れ、会社全体の一体感をあらためて感じられた方も多かったのではないのでしょうか。今後もコミュニケーションを深めながら、よりよい職場づくりにつなげていきたいと思います。ぜひ最後までご覧ください。

目次

2025年忘年会・2ページ

リクシル工場見学・3ページ

第10回大阪春節祭・4ページ

LIXIL お礼の会・5ページ

第1回全社会議・6ページ

DAIMATSU FAIR・7ページ

懇親会・8ページ

技能検定試験・9ページ

編集後記・10ページ

2025年忘年会

2025.12.19

年末の節目として開催された忘年会は、日頃の労をねぎらい、社員同士の親睦を深める貴重な機会となりました。普段は業務上のやり取りが中心となるなかで、リラックスした雰囲気のもと、部署を越えた会話が広がり、会場は終始和やかな空気に包まれていました。

今回は、京都本社メンバーと大阪営業所メンバーのなかで、初めて顔を合わせる方もおり、対面で直接会話を交わすことで、これまで以上に距離が縮まる場面が多く見られました。実際に顔を見て話すことで、お互いの人柄や雰囲気を知ることができ、より親しみやすい関係づくりにつながったように感じられます。

仕事の話はもちろんのこと、趣味や近況について語り合う姿も多く見られ、普段とは違った一面を知ることのきっかけにもなりました。こうした交流は、日常業務における連携のしやすさや、相談しやすい関係づくりにもつながっていきます。

また、二次会のカラオケにも多くのメンバーが参加し、アニソンから懐メロまで幅広い選曲で大いに盛り上がりました。部署や拠点の垣根を越えて一緒に楽しむ時間は、忘年会ならではの一体感を生み、笑顔あふれるひとときとなりました。

一年を振り返りながら、仲間とともに時間を共有できたことは、大きな意味のあるひとときでした。来年もそれぞれの力を持ち寄り、よりよい仕事につなげていきたいと思える、前向きな締めくくりとなりました。



リクシル工場見学

2026.2.5



リクシル工場見学では、製品がどのような工程を経てつくられているのかを実際の現場で学ぶことができました。普段目にする製品の背景にある技術や工夫、品質を支える仕組みについて理解を深める、大変有意義な機会となりました。

京都から和歌山の工場へ向かう移動中も終始和気あいあいとした雰囲気、参加メンバー同士の交流を深める時間となりました。また、昼食もごちそうになり、見学前から気持ちもおなかも満たされる、ありがたいひとときとなりました。

今回訪問したリクシル和歌山上野緑工場では、浴槽の製造工程や検品の様子を実際に見学し、製品が丁寧な工程を経て形づくられ、厳しい確認のもとで品質が保たれていることを学びました。見学を通じて特に印象的だったのは、品質管理に対する高い意識と、現場で働く方々の丁寧な取り組みです。一つひとつの工程に意味があり、安全性や使いやすさを追求する姿勢が、製品づくりの現場にしっかりと根づいていることが伝わってきました。



さらに、その後には実際に入浴体験として「スパージュ」を体験する機会もありました。製品を実際に体感することで、カタログや説明だけでは得られない使用感や魅力を知ることができ、今後の提案やデザイン、発注の際にも、より具体的なイメージを持って業務に活かせると感じました。また、実際の製造現場を見ることで、商品やサービスに対する見方がより具体的になり、今後の提案や業務にも活かせる学びが多くありました。今回得た知識や気づきを、それぞれの仕事の中で共有し、日々の業務に役立てていきたいと思います。

第10回大阪春節祭

2026.2.21

2026年2月、大阪・天保山で開催された「第10回大阪春節祭」のオープニングセレモニーにおいて、遠望建設株式会社の代表取締役が来賓として招待され、テープカットに参加いたしました。

大阪春節祭は、関西地域を代表する国際文化交流イベントの一つであり、多くの来場者や関係団体が参加する大規模な催しです。記念すべき第10回となる本年も、地域社会と国際交流の架け橋として大きな注目を集めました。

当日は、行政関係者や経済界、各種団体の代表者が出席する中、華やかなオープニングセレモニーが執り行われました。当社代表もテープカットに参加し、イベントの開幕を祝うとともに、関係者との交流を深めました。

遠望建設は、総合建設会社として建築・改修事業を通じて社会インフラの整備に貢献するだけでなく、地域社会との連携や国際交流活動にも積極的に取り組んでおります。今回の参加は、企業としての社会的責任を果たしながら、多様な文化や人々をつなぐ貴重な機会となりました。

今後も「遠い望みを、確かなかたちへ。」という企業理念のもと、新たな価値創造に挑戦し続け、地域社会とともに成長する企業を目指してまいります。



LIXIL お礼の会

2026.3.12

このたび当社は、LIXIL主催の「秋のリフォームコンテスト2025」において、京滋エリアおよび関西エリアで多数の賞を受賞いたしました。

今回の受賞は、日頃からお客様一人ひとりに寄り添った提案活動と、高品質な施工・アフターフォローが評価された結果であり、大変光栄に感じております。

受賞内容

LIXILリフォームネット総合部門

- LWTジャンプアップ賞 京滋第1営業所 第1位
- 総合ポイント賞 京都・亀岡・山城エリア 第2位
- LHTジャンプアップ賞 京滋第1営業所 第3位
- スパージュ賞 関西エリア 第3位

商品賞

- リシェル賞 京滋エリア 第2位
- リノビオ賞 京滋エリア 第3位



特に、LWTジャンプアップ賞では京滋第1営業所で第1位を獲得することができ、社員一同大きな励みとなりました。

これらの受賞は、営業担当者だけでなく、施工管理、工事スタッフ、事務スタッフなど、全社員が一丸となって取り組んだ成果です。また、日頃よりご愛顧いただいているお客様、そしてご支援いただいている協力会社の皆様のお力添えがあってこそその結果であり、心より感謝申し上げます。

今後も現状に満足することなく、お客様により快適で安心できる住まいをご提供できるよう、さらなるサービス向上と技術力の研鑽に努めてまいります。

LIXIL秋のリフォームコンテスト2025において、京滋エリアおよび関西エリアで多数の賞を受賞しました。今後もお客様に選ばれる会社を目指してまいります。



第1回全社会議



株式会社遠望建設
株式会社遠望国際
株式会社遠望不動産



2026.4.23

第1回全社会議は、会社としての方向性や各部署の取り組みを共有し、今後に向けた意識をそろえる場として開催されました。創業8周年にして初めての開催となった今回の社内会議は、従業員にとっても待望の機会となり、会社全体を見渡ししながら日々の業務を見つめ直す貴重な時間となりました。

普段は目の前の業務に取り組むことに精一杯になりがちですが、今回の会議では、一つひとつの業務が会社全体にどのように作用しているのかをあらためて認識することができました。また、会社のこれまでの歩みと今後の展望についてもしっかりと共有され、各自が今後の方向性をより具体的にイメージできる機会となりました。

会議では、各従業員から現状の報告や今後の展望が発表され、それぞれの役割や取り組みへの理解が深まりました。業務の進め方や社内連携に関する意見交換も行われ、立場を越えて前向きな議論が交わされたことが印象的でした。

さらに、一人ひとりがこれまでに達成したことや、今後の目標、展望を発表する時間も設けられました。普段の業務の中ではなかなか知ることのできない、それぞれの仕事に対する思いや姿勢に触れることができ、互いへの理解がより深まる機会となりました。

社内会議は、情報共有の場であると同時に、共通認識を育てる大切な機会でもあります。今回の会議を通じて得られた気づきや意見は、今後の改善や連携強化につながるだけでなく、社員一人ひとりの士気を高め、より一層会社一丸となって働いていくための大きな力になったと感じています。これからも、より働きやすく、成果の出しやすい組織づくりを進めていきたいと思っています。

DAIMATSU FAIR 2026

LINK50

2026.4.23

大松フェアでは、多くの来場者や関係企業の皆さまとの交流を通じて、当社の取り組みや魅力を発信することができました。日頃よりお世話になっている大松様とお取引先企業が一堂に会するこの催しは、さまざまな製品や情報に触れられる貴重な機会となり、有意義な交流の場となりました。



会場では商品やサービスの紹介に加え、来場者や関係者の皆さまと直接お話しする機会も多く、対面ならではの反応や声を伺うことができました。特に卸売り部門や建築部門の社員にとっては、業者の皆さまと交流しながら実際の製品に触れることで、日々の業務に活かせる学びの多い時間となりました。



会場ではは、具体的な質問や関心の高いご意見が飛び交い、今後の提案や対応に活かせるヒントが多く得られました。また、業務で実際に提案したり発注したりする製品を、自分の目で見て、体験し、比較できる機会は普段なかなか多くはないため、社員にとっても非常に有意義で貴重な経験になったのではないかと思います。こうした体験を通じて、自社の強みや提案の幅をあらためて見つめ直すきっかけにもなりました。



今回は社長の厚意により、参加対象が従業員全員に広げられたことも大きな特徴でした。さらに、大松様にはシャトルバスもご用意いただき、移動中も和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができ、ちょっとした遠足のような楽しさも感じられるひとときとなりました。会場ではは、具体的な質問や関心の高いご意見が飛び交い、今後の提案や対応に活かせるヒントが多く得られました。





懇親会

2026.4.23



懇親会は、社員同士が気軽に交流し、日頃の業務ではなかなか話す機会の少ないメンバーともつながることができる場となりました。部署の垣根を越えた会話が自然に生まれ、会場には明るく温かな雰囲気広がっていました。

今回は、社長が一つひとつの卓を回り、自ら社員に声をかけてくださる場面もありました。会社が成長し、規模が大きくなりつつあるなかでも、従業員一人ひとりに目を向け、大切に思ってくださいの姿勢が感じられ、あらためてその温かさに触れる機会となりました。



普段の職場では見えにくい考え方や人柄に触れることで、相手への理解が深まり、信頼関係の土台づくりにもつながります。ちょっとした会話のなかから新しい発見が生まれたり、今後の連携に役立つきっかけが見つかったりすることも、懇親会ならではの価値といえるでしょう。

仕事を円滑に進めるうえで、コミュニケーションの力は欠かせません。今回の懇親会を通じて生まれたつながりを大切にしながら、これからも声をかけ合い、支え合える職場づくりを進めていきたいと思います。また、こうした場を通じて、会社全体の一体感や安心して働ける環境の大切さをあらためて実感する機会にもなりました。

技能実習生が「ボード仕上げ基礎級」

技能検定試験に挑戦



2026.6.5

当社にて外国人技能実習生を対象とした**「ボード仕上げ基礎級技能検定試験」**を実施しました。

ボード仕上げ基礎級は、内装工事における基本的な施工技術や作業手順、安全管理に関する知識・技能を評価する試験です。実習生たちは試験に向けて日頃の業務や訓練を通じて技術を磨き、本番では緊張した様子を見せながらも、真剣な表情で課題に取り組んでいました。

試験では、これまで培ってきた技術や知識を発揮し、一つひとつの作業を丁寧かつ確実に進める姿が見られました。実習生たちの成長を感じるとともに、日々の努力の積み重ねの大切さを改めて実感する機会となりました。

また、試験の実施にあたっては、指導担当者をはじめ多くの社員が準備や運営に携わり、無事に試験を終えることができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

当社では今後も、技能実習生が安心して学び、技術力を向上できる環境づくりに努めるとともに、さらなる人材育成に取り組んでまいります。

編集後記

今号では、社内で行われたさまざまな取り組みを振り返りました。部署や拠点を越えた交流の機会、実際に見て・触れて学ぶ体験、そして会社のこれまでとこれからを共有する場など、それぞれが異なる形で大きな意味を持ち、会社として前に進むための大切な一歩となりました。

日々の業務は、一人で完結するものではなく、多くの人との関わりや支え合いの中で成り立っています。今回あらためて感じたのは、直接顔を合わせて言葉を交わすこと、思いや考えを共有すること、そして実際の体験を通じて理解を深めることの大切さです。こうした機会を通じて生まれたつながりや学びは、これからの仕事をより良くし、会社全体の力を高めていく大きな原動力になると感じています。

また、会社が成長を続ける中でも、社員一人ひとりを大切にする思いや、互いに理解し合いながら前に進もうとする姿勢が、さまざまな場面から伝わってきました。こうした積み重ねが、より一層の一体感や士気の向上につながっていくのではないのでしょうか。

今後も、社員の皆さまにとって身近で親しみやすく、会社の今を感じられる社内報を目指してまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

